

論說

●三崎産介形類に就きて

(三) (第廿五卷 第一版附)

理學士 梶山英 二

●區 Podocopa

介甲 觸手刻なし。第二觸手 内枝は外枝よりよく發達せり。内枝は三―四節より成り外枝は二―三節の長さ紡績剛毛より成る。小顚には常に大なる鰓板あり。心臟なし。此の類は孳生活を營む事なく常に土砂上或は海藻上を匍匐す。

●科 Cypridae

介甲 一般に表面彫刻なし、内縁は前後端に於て最も離れ、次縁は外縁に全く平行し接して存在す。孔道は種々にして單純なるもの又は分岐せるものあり。第一觸角 一般に八節よりなれども六―七節の事もあり、末節には細長き剛毛又は短き厚き剛毛あり。第二觸角 二基節と四節の内枝よりなる。第一基節には外枝の痕跡として一―三本の剛毛あり。内枝第一節の基部に大なる棒桿狀の

剛毛あり。此者は屢知覺毛の一群よりなる事あり。第二節は其の基部に五本の知覺毛を有す。末端には四―五本の長き剛毛又は數個の剛刺あり。大顚 一基節と四節の觸鬚とより成る。基節は小にして咀嚼齒は比較的弱し。觸鬚第一節には鰓板は鰓線あり。小鰓 三節の咀嚼突起と二節の觸鬚とよりなり各其の先端に多くの剛毛あり。又大なる鰓板常に存在す。鰓脚 一基節と四節の内枝とより成れ、其の變化頗る大なり。雄にては内枝は二―四の癒合によりて二節より成り匍匐の用をなす。雌にありては一定せず。外枝は内枝と基節と接する處より前方を向ひて存在し咀嚼の用をなす。又基節の基部に鰓板ある事あり。第一脚 丈夫なる一基節と四節の内枝とより成り匍匐の用をなす爲めに頗る長し。末節は短くして二―三本の剛刺あり。第二脚は略第一脚に同じ。尾叉 六本の剛刺よりなり内四本は先端にあり其の二本は剛刺をなす。

●亞科 Pontocyprinae

顯脚に鰓板なし。末節の剛刺は短く尾叉は常によく發達す、卵巢及び睪丸は常に介甲内に渦を巻きて存在す。

●屬 Pontocypris Sars

介甲 堅し。表面に常に多少の剛毛あり。介甲縁に齒なく、左介は右介を背部にて越ゆ。上より見れば最も巾廣き部中央より前方にあり。第一觸角 細長く、八節よりなる第四―第八節にある長さ毛は徑部終りの六節より常に長し。第二觸角 内枝第二節の基部に四―五本の知覺毛あり。大鰓 觸鬚第一節の腹面に二―三本の剛毛ありて其一部に毛生えたり。第一脚 末節に長さ爪狀の剛刺あり、其の基部には短き剛毛あり。第二脚 内枝第三節(全體としては第四節)に二―三の巾廣き短き齒と一本の長き剛毛とあり。末節には三本の長さ剛毛あり。其の中央のものは多くは櫛狀をなす。側眼常に存在せり。

13. *Pontocypris püfjere* G. W. MÜLLER. *P. püfjere* G. W. MÜLLER, 1894, Fauna und Flora des Golfes von Neapel, Mon. 21 p. 247.

介甲 低き二等邊三角形をなし、中央最も高く長さの二分の一に達す。前後縁は共に丸く屈曲すれども后縁稍低し。其の下半は互に僅かに近りて下縁に移る。下縁は中央少しく凹む。内縁は前後縁に於て少しく退く。小さき剛毛一面に散布せり。左介は右介より上縁の中央突れり。大鰓

第一節背面に二本の鰓線あり。顯脚 外枝は二本の剛毛より成り前方を向く内枝は二節より成り第二節は爪狀をなす。雄にありては左右同様なれども雌にありては其の爪右方稍細長し。常に三本の剛毛其の基部にあり。中央のは最も短く桿棒狀をなし、内側のは最も長し。第一脚 基部に數本の剛毛あり。第二脚 先端櫛狀剛毛の直ぐ下方に二本の齒狀突起あり。長さ一耗常に底引きによりて採集せらる。色は黄白色なり。此者の精蟲は梨實狀をなし、交接突起は特別なる形狀をなす(附圖参照)。

●科 Bairiidae

介甲 堅く左介は右介より高く常に背面に於て越ゆ。内縁は外縁より少し離れて平行に走り、次縁は外縁に殊に接せり。前、后縁には常に多少の齒あり。第一觸角 七節なり。終りの三節には常に多くの細長き觸覺毛あり。第二觸角 一基節と四節の内枝とよりなる。基節の先端には外枝の痕跡として一―三本の剛毛あり。内枝の第二、第三節は長く、末節は頗る短くして末端に二本の爪あり一方は他より細長し。大鰓 大なる基節によく發達せる四本の長さ咀嚼齒あり。其の先端は二分す。一本の長さ剛毛と短き多くの剛毛此れに接して生ゆ。觸鬚は四節にして末節には多くの剛毛あり。鰓板は少くとも三本の鰓線より成り羽毛狀をなす事なく、内一本は常に長し。小鰓 咀嚼突起の先端に二種の剛毛あり一は巾廣くして強く屢々多く

の毛生えたり。他は細長くして單純なり。鰓板の後縁には少くとも五本の長き剛毛の群ありて後方に向ふ。細長き數本の剛毛咀嚼突起の基部に存在す。第一脚 一基節と四節の内枝とより成る。基節には前面に多くの細長き剛毛あり後面には大なる鰓板あり。初めの四本は多少キチン質化して下方を向く。内枝第一節に二本第二第三節に各一本の剛毛あり。末節は頗る短く大なる爪と二本の小なる剛毛とより成る。第二第三脚は略第一節に同じ前方には小なる剛毛あり後方には其の二本ありて稍大なり。刷毛狀器は雄の第二脚の基部にあり。尾又、比較的弱く、末端に七本の剛毛ありて並べり。側眼は時としてなき事あり。各枝及び其の他のキチン化せる部は甚しく褐色をなす。介甲も同じ色なり。

●屬 *Pavilia* Mc-Cox

介甲 一方又は兩方の下半分に多少の齒あり。第二觸角 細長く第二、第三節著しく長し。第一脚の鰓板の初め四本の放射線は下方に向ひ羽毛狀をなさず。

1. *Pavilia oligodentata*, n. sp.

介甲 稍三角形に近く中央最も高く長さとの比三對三・五。故に上縁の屈曲頗る急なり。前縁は介甲の高さの二分一の處にて最も前方に突き出たり。下方には丸く曲れども上方には斜に走りて上縁に合す。後縁は高さの半分の處より少し下方最も後方に突き出で上方に僅かに凹み

を作りて上縁に合し、下方には靜かに曲る。此處に約九分の小なる齒あり。下縁は中央稍凹めり。右介は左より稍細長く頂上は扁く下縁の灣入は稍大なり。表面には一パイに黑色の稍長き剛毛を以て満たされ前縁に近く一個の渦あり。前後縁には強き大なる剛毛あり。閉鎖筋は七個ありて中央より下方にあり。上より見れば中央より少し前方最も巾廣く前後に尖る。第一觸角 第一節には細かき毛多く生ゆ。第二第四節にある剛毛は短く第五には四本、第六第七には各五本の頗る長き毛狀の剛毛あり。小鰓 觸鬚は無節。尾又 各葉に二本の長き強き羽毛狀をなす剛刺と短く細き三本の剛毛と二本の甚だ小なる剛毛とあり。長さ一耗。

●科 *Cytheridae*

介甲 其の形一定せず常に堅く石灰化し時としては複雑なる斑痕あり。内縁、次縁及び孔道は種々の形をなす。蝶番は大低石灰化せる齒を有す。第一觸角 一般に五乃至七節なり。剛毛は柔く又は剛刺、爪狀をなす。第二觸角 一基節と内枝二―四節より成る。末節には二、三本の剛刺又は爪あり。外枝は常に紡績剛毛をなし、二三節より成り内枝より長けれども雌にありては屢非常に短く、基節の先端(即ち内枝第一節の基部)に附着す。大なる二つの紡績腺體の前端上方に位し其の開口は外枝の先端にあり。内枝第一節には屢毛生ゆ。大鰓 種々の形をなし基節は咀

嚼の用をなし觸鬚は三—四節にして外枝は鰓板又は鰓線として其の第一節に附着せり。」小鰓 略 *Cypripes* に同じ。大なる鰓板あり。屢咀嚼突起の數減じ又鬚觸は其の痕跡のみとなれるあり。」第一—第三脚 歩行の役をなし互に相似たり。各前方を向ける一基節と後方を向ける三節(内枝)とよりなる。第一脚の基節には前方先端に二本中央に二本或はより多くの剛毛あり。後方には一般に羽毛状をなす一本の剛毛あり之れ鰓板の残りなるべし。此のものは時としてなき事あり。内枝の第一節(全體としては第二節)及び稀に第二(全體としては第三)節の前方先端に一本の丈夫なる剛毛あり。末節には長き爪狀の剛刺あり。之れは嘗ては *Bairdia* の如く第四節(内枝)にありしものが内枝の第三、第四節の癒合によりて第三節に見出さるゝ至りしなるべし。第二脚の基節の前方先端に一本中央に一—二本、後方には一本の剛毛あり。其他前脚に同じけれども剛毛の數少き事あり。」刷毛器は常に第一脚の近くにあり。」尾叉 二本又は多くの小なる弱き剛毛よりなる。雄性交接突起の形状は殊に必要なり。常に底曳き又は藻を洗ひてのみ採集せらる。

●屬 *Cytheropteron* G. O. Sars.

介甲 堅く餘り透明ならず。後縁中央より少し高く、小なる後方突起あり。表面の痘痕は常に太く又大なる翼狀突起あり。閉鎖筋の痕跡は四—五なり。内縁は前縁及び後

縁に於ては下縁に於けるよりも多く外縁より離る。右介は左介より大蝶番は多くの齒よりなり中央のは微かなれども兩端にあるは頗る大なり。」第一觸角 五—六節より成る。細長く剛毛は毛狀なり末節は頗る短くして小なり。」第二觸角 内枝は四節、第三節に知覺器なし。」大鰓 咀嚼齒は單純にして小觸鬚は三—四節にして鰓板のある處に一本の簡單なる鰓線あり。」小鰓 細長き咀嚼突起あり。鰓板には二本の放射線ありて口方に向ふ共に同じ長さなり。」第一—第三脚細長く第一脚に一本、第二脚に二本の剛毛第一節の前面にあり。第三脚になし。第一脚に二本第二脚に一本又は稀れに二本の剛毛第一節の後面にあれば、第三脚にはなし。」尾叉甚だ小にして一般に二本の剛毛あれどもなき事もあり。

15. *Cytheropteron videns* G. W. Müller.

C. videns G. W. Müller, 1894, Fauna und Flora des Golfes von Neapel Mon. 21, p. 303

介甲 短菱形 上縁は烈しく曲れども下縁殆ど真直なり。前縁より滑かに連り其の下半に於て烈しく丸く突起し此處に四本の小なる齒あり。後縁は後方突起によりて直角に曲げられ下方には二、三の凸凹あり。下縁に接する處は表面翼狀突起によりて隠る。中央最も高く長さとの比二對三・五。背面の隆起は眼に近く起り上縁に平行に走り後方突起に近く下方に殆ど直角に曲る。腹面隆起は前縁の上方に起り下縁に接し其の後半にては烈く突き出

で翼狀突起をなす次に直角に上方に曲り前隆起線と略介甲の高さの中央にて會す。大なる窪める痘痕少數あり孔道も亦少し縁邊の孔道は前後縁に最も著しく顯れ長き剛毛あり。下縁には剛毛少なし。上より見れば中央最も巾廣く前方に急に狭く後方には除々たり背面の隆起後方に近くよく顯る、蝶番の齒は略十本なり。第一觸角 六節にして第三第四節には各一本第五節には四本、末節には四本の剛毛と一本の知覺毛とあり。第二觸角 内枝第一、第二節には毛あり。剛毛は第一節に二本、第二節に三本、第三節に二本あり。末節は殊に短く二本の爪其の先端にあり、外枝は三節なり。尾叉 二本の極小なる剛毛と一本の剛毛とよりなる。雄性交接器 主突起と副突起とより成り前者は稍大なり共に先端尖る前者は稍々巾廣し。基節の巾は兩突起の長さと同じ位なり。長さ、四耗にして介色黃、鶯色又は黃色。

●屬 *Parudorostoma* FISCHER

介甲 薄く殆ど透明にして滑かなり、閉鎖筋痕は小にして四個一列に並ぶ。内縁は外縁より少し離れて走り前後縁に於ては稍多く離る。次縁は外縁に接して存在す、表面及び縁邊の孔道は少く眼は常に上方前面に接す介色は種々にして黃、紫、鶯色等あり。第一觸角 六節、頗る細長く最後の二節は短く終りの三節には細かき毛あり。第二觸角 一基節と三、四節の内枝とよりなる内枝の先端

には二本の強剛刺(爪)あり一は必ず小なり、紡績腺殊に大なり之れ附着生活をなす爲めなるべし。大顯 基節は細長き堅きキチン質の棒にして咀嚼齒と云ふべきものなし、觸鬚は頗る細長くして弱く基節に高く附着し二、四節なれども關節頗る不分明なり末端に五本位の毛あり。小顯 咀嚼突起は甚しく簡單にして二個あるのみ即ち第二、第三突起にして先端に長き毛あり、屢第一突起のあるべき處に一、二本の剛毛發見せらるゝ事あり、觸鬚はなく又は一本の剛毛として其の痕跡を留む、鰓板は甚廣く二本の同じ長さの剛毛口方に向ひて存在す。第一—第三脚 第一第二脚の第一節前縁中央には各一本の剛毛あれども第三脚には時々なき事あり。又第一脚第一節の先端の二本の剛毛の内一本は爪狀をなす。尾叉 二本の剛毛と一の大なる突起とより成り屢毛生ゆ。此の屬に屬する各種は形態皆頗る類似し分類甚だ困難なり、只介甲の後部の形狀と雄性交接突起とを主なる目標となす、常に海草上に住棲す。

16. *Parudorostoma confforme*, n. sp.

介甲 前方に狭くなる最も高き所は後方に近く長さとの比二對五故に長卵形をなす。前縁は丸く尖り、後縁は太く丸く曲り其の上縁と接する處に扁たき小突起あり。上縁は前方に傾斜して稍曲れども下縁は眞直なり。次縁には孔道なし、上より見れば細長き卵形にして中央より少し後方最も巾廣く長さの三分の一位なり前方に尖り後方

に丸し。』第一觸角 第三節の内側側に細毛あり第三節に一本第四に二本第五に三本、末節に一本の剛毛あり末節のは稍大なり。』第二觸角 紡績剛毛は三節より成る。内枝第一—第三節には各一本の細き剛毛あり。』大鰓 鬚觸は三節にして末節に六本の毛あり。』小鰓 第一咀嚼突起は二本の剛毛よりなる觸鬚なし。』第三脚 末節及び爪に毛生へたり。』長さ・七耗 色は種々にして一般に中央黒く口に近く紫色なり。

17. *Pseudoxostoma oblongum*, n. sp.

介甲 長みがたなり中央最も高く長さの約三分の一なり、上縁は靜かに曲り前縁は丸く下縁は略眞直にして前端より約四分の四邊より鈍用をなして上方に曲る、後端にては其の中央より少し上方に扁たき突起あり故に全體として介甲は兩端に稍尖る、下縁に近く僅かの毛あり。』小鰓 第一咀嚼突起は大なる剛毛と一本の細き毛とよりなる。觸鬚は一本の毛よりなる。』第一—第三脚 末端の爪は短くして小なり第三脚の第三第四節の一方には毛生ゆ。』尾叉 二本の剛毛羽毛状をなさず。』雄性生殖突起 大なる交接突起は之れに數倍する基節と直角をなして曲り先端は尖る其の基部に二本の小なる剛毛あり。』長さ・七耗。』介甲の色は黄帶鳶色、上方に近く紫色をなす。

18. *Pseudoxostoma ovulae*, n. sp.

介甲 卵形にして中央より少し後方最も高く長さこの比二對三の如し、上縁は僅かに曲れども下縁は殆ど直線

をなし中央少し窪めり、前縁は丸く曲れども後縁は其の中央より上方稍突き出でたり、次縁には孔道小數に散布せり。』大鰓 其基節頗る長し。』小鰓 第一咀嚼突起は二本の剛毛より成る觸鬚は全くなし。』尾叉 二本の剛毛には毛なく其の上方に位する一大三角形突起は其の上方に毛生へたり。』雄性生殖器 三角形にして頗る薄く後方に尖る。長さ・一七耗。介色黄白色。

19. *Pseudoxostoma pilosum*, n. sp.

介甲 短くして卵形に近く中央より後方に近く最も高く長さこの比二分の一位なり、上縁は僅かに曲りて前方に斜き、後縁と接する處に扁平なる突起あり此處に少し凹みあるを見る、後縁は前方に傾きて殆ど眞直に下る、前縁は丸く下縁は眞直なれども中央僅かに凹む、表面には多くの毛散布す。』第二觸角 内外枝共に三節なり。』第一—第三脚末節の爪は小にして短し。』雄性生殖器 小にして基節の上に槌狀の突起をなす一は尖りて後方を向き他は丸くして前方を向く。』長さ・三耗。』色は種々にして鳶黄色黄白色にして中央に僅かに黒き斑點あり。

20. *Pseudoxostoma quadratum*, n. sp.

介甲長方形をなし兩端稍尖る、上縁は其の中央僅かに膨む然れど上下縁は殆ど平行す、高さこの長さこの比一對三、表面には僅かに毛生ゆ、眼は淡紅色。』第一觸角 五節なり第三節内外側に毛あり又一本の剛毛あり、第四節は二節癒合せる證として其の中央に剛毛二本あり先端には

其の三本を見る末節には一本の大なる剛毛あり。』第二觸角 紡績剛毛は三節、内枝も三節なり、第一節に一本、第二節に三本の剛毛あり内二本は其の中央に位す。』第一—第二脚 第三脚は三節なり、末節下半の一側面には毛生、第一第二脚の先端爪の基部に小なる毛あり。』尾又 二本の剛毛の中一本は短し三角突起なし。』長 ϕ 〇二耗にして白色に近し。』雄は遂に見當らざり也。

21. *Pseudoxostome birnigutina*, n. sp.

介甲 稍三角形をなす、中央最も高く長さとの比二對五、上縁烈しく屈曲し前縁に向ひ稍尖り此處に小さく丸くなりて下縁に連る、後縁にては稍大きく丸くなり上隅に扁たき突起あり下縁と接して鈍角をなす、下縁は其の中央稍凹む、内縁は後方に於て殊に多く外縁より離れ次縁には多くの孔道あり爲めに波状を呈す。』第一觸角 六節、第三節に毛あり其の先端に一本、第四に一本、第五に二本、末節に三本の毛狀剛毛あり。』第二觸角紡績剛毛は二節、内枝は四節なり。』小題 第一咀嚼突起は二本の剛毛よりなる。』第一—第三脚 末節は短くして形小なり。』尾又 一本の剛毛と三角狀の突起とより成り上方に毛生。』雄性生殖器 頗る退化せるものにして二本の扁平な突起よりなり一方は小なり。』長 ϕ 一七耗にして中央稍黒く、雫黄色なり。

22. *Pseudoxostoma Yafusi*, n. sp.

介甲 稍卵形、中央より少し後方最も高く略高さの二

分の一、上縁は可成り烈しく曲屈し前方に向ひて傾斜の度大なり眼に近く小なる突起あり、前縁は小さく丸く曲り後縁は大きく曲り略二倍に達し上隅に平たき突起あり、其の上方稍凹む下方にては下縁と小なる鈍角をなす、下縁は略真直なり、次縁は外縁に平行にして波状をなし各の處には孔道あり、此の波の形は各種によりて一定せず多きあり少きあり、表面には僅かに毛あり。』第一觸角六節、第四、第五節に各三、四本の剛毛あり。』第二觸角紡績剛毛は三節、内枝は四節。』大題 觸鬚は二節、末端に六本の毛あり。』第一—第三脚末節爪は短且細、第三脚第三節の側に毛あり。』雄性生殖器 大なる基部に一きに二本に分離せる交接突起あり略同大、其の基部に一本の尖れる小なる剛毛ありて渦巻く。輸精管は頗る明白にして基部を貫通す。』長 ϕ 〇七耗。』介色は種々にして全體黒く前端に近く白きもの又は黄白色にして中央に黒き斑點あるもの等あり。

●屬 *Xestoleberis* G. O. Sars.

介甲 種々の形狀をなし一般に表面滑かなり、内縁は前方にて又は後方にて少しく外縁より離る其の他にありては全く平行し近く走る、下縁にては其の中央に於て次縁に接す、孔道は頗る明にして分枝せず邊緣に最も多く表面に少し、閉鎖筋痕は四個、一列に並び少し離れて尚一個あり、之れ等は各自分れて數個となる事あり、眼の後

方に常に豌豆狀の斑點常に存在す、一種の腺なるべし、左介は右より大なり、背面の蝶番の齒は前後に各一列ありて中央には只韌帶様の膜あるのみ。』第一觸角 六節、丈夫にして剛毛に分化なし。』第二觸角 内枝は三節にして末端に二本の爪あり一方は小なり、第二節の先端にも一本の爪ありて略之れと同等大なり、紡績剛毛は二、三節なり。』大顯 基節は割合に小なり、觸鬚は三節にして鰓板は二本の鰓線となれり。』小顯 觸鬚は無節、大なる鰓板には一本の邪線(aberrant ray)あり。』第一—第三脚 第一節の中央前方及び後方に各一本の剛毛あり。』尾叉 雌にありては二本の不等の剛毛より成り、雄にありては其の三本よりなりて生殖器に固着せり。

225. *Kestoleobius segamiensis*, n. sp.

介甲 短くして頗る高く長さとの比二對三、中央より少し後方最も高し、上縁は烈しく曲り殆ど丸く前方に向ひて傾斜稍緩かなり、下縁は眞直にして中央少し窪む、前後縁は共に丸く曲れども前縁は稍小なり、次縁は上方を除き其の他にありては明かに表はる、孔道は全表面を通じてよく發達し上方には其の數少し、其の先端には數本の毛あり、縁邊に於ては下縁の中央不明にして毛も少し、閉鎖筋はよく發達す、眼の後方にある豌豆狀の腺は頗る不分明なり。』第一觸角 六節、第一—第三には各一本、第四—第五には各二本の剛毛あり、第二節には毛生ゆ。』第二觸角 第一—第二節には各一本の剛毛あり、紡績剛毛

は二節。』大顯 基節には五本の咀嚼齒と一本の長さ剛毛とあり、觸鬚第一節に一本、第二、第三節には數本の剛毛あり。』小顯 各咀嚼突起並に觸鬚の先端には細かき毛あり、觸鬚の基部にも多くあり。』第一—第三脚、末端爪は細長く下半に毛生ゆ。』雄性生殖器尖れる短き交接突起と其の基部に鈎狀をなす剛刺狀の副枝とありて大なる基節に附着す。』長さ四五耗。』介色灰色なり。

●屬 *Loroconella* G. O. Sars.

介甲 種々にして後端介甲の高さの中央より少し上方に常に後方突起あり其の大きさ一定せず、表面には種々の彫刻あり時としては凹み目餘り大にして隔壁殆ど不分明の事あり、表面彫刻の複雑なる爲め閉鎖筋痕、内縁及び次縁頗る不分明なり、縁邊に存在する孔道は數多くして分枝せず頂上に廣くなり此處に毛數本あり、又表面孔道の内面には屢色素附着を爲めに介甲銀白色を呈する事あり、一般に剛毛多からず、左右兩介殆ど同大、蝶番は頗る丈夫にして背面の齒よく發達す。』第一觸角 六節、甚だ細長き毛ありて末節にあるものは終りの二、三節の長さより長し、時として爪狀剛刺に分化せる事あり。』第二觸角 内枝は三節、末節は短く略同大の爪先端にあり、紡績剛毛は二節。』大顯 基節は頗る大、咀嚼齒は五本にして先端よく凸凹せり、觸鬚三—四節にして多くの剛毛あり其の第一節には鰓板の残りとして二—三本の鰓線あり

り。小顯 三個の咀嚼突起と一節の觸鬚とありて先端に數本の毛あり、鰓板は頗る大、一個の邪線之れに附着せり。第一―第三脚 細長く皆第一節に二本の前方を向へる剛毛と一本の後方を向へる剛毛とあり、此者は屢羽毛状をなす而れども第三脚にありては前方を向ける剛毛は一本なり。尾叉 二本の不等の剛毛よりなり雄にありては交接突起によく附着す。側眼常にあり。

24. *Foroconcha impressa* (BRADY)

**Cythere impressa* BRADY, 1850, 'The natural history of British Entomostraca', Roy. Soc. viii, p. 365.

L. impressa, BRADY, 1858, 'Trans. Linn. Soc. London, vol. 26, p. 110. *L. impressa*, BRADY, A monograph of post-tertiary Entomostraca of Scotland, & parts of England & Iceland. Paleontogr. Soc. London, 1874.

L. impressa, BRADY, 1889, 'Sci. Trans. Roy. Dublin Soc., ser. 2, vol. 4, p. 63.

**L. rhomboides* Sars, 1865, 'Oversigt of Norges marine Cetracoder. Forh. Vid. Selsk. Christiania.

L. rhomboides DARR, 1888 'Zool. Jahrb., Abh. für Syst., vol. 3, p. 597.

**Cythere viridis* LITTONHOPE, 1853, 'De Crustaceis ex ordinibus Cladocera, Ostracoda et Copepoda in Scandinavia occurrentibus. Lund: XVI p. 222.

Cythere curvata BRADY, 1865, 'Ann. & Mag. N. H., ser. 3, vol. 10, p. 189.

L. impressa (L. W. MÖRRE, 1891, 'Fauna & Flora des Golfes von Neapel', vol. 21, p. 312.

L. impressa GUSHMANN, 1904, 'Proc. Boston Soc. of N. H., p. 371.

介甲 稍卵形にして中央より後方最も高く長さとの比二對三、雌にありては稍短かきか如し、左介の上縁は靜に曲り眼の邊より斜めに下方に屈曲し高さの三分の二邊より丸く下方に曲る、右介の上縁は稍扁平にして前縁とは眼の近くにて僅かに角をなす、下縁は眞直なれども其の中央少し凹む、後縁は介甲の長さの三分の二より下縁と鈍角をなして斜に上方に向ひ高さの三分の二にある後方突起に達し殆ど直角をなして上縁と連る、雄の介甲は稍長くして上縁扁平に近く又兩介共に前縁と角をなす、表面には種々の大きさの痘痕あり内面には常に青黒色の色素ありて孔道を中心とし恰も星の如く廣がる、縁邊に近く多くの毛あり上より見れば中央より少し後方最も廣く前後に傾斜し。第一觸角 六節、第二―第四節に各一本、第五節には四本、末節には頗る細長き二本の剛毛あり。大顯 大なる基節に五本の稍複雑なる咀嚼齒と多くの毛とあり、觸鬚末節の一、二本の剛毛は爪状をなす、第三節は中央中廣し。第一脚の後に向へる剛毛は羽毛状をなす。雌性生殖突起 大なる基節と先端の尖れる三角形狀の交接突起より成る。長さ二四耗。介色 灰白色又は黄白色。

25. *Foroconcha bispinosa*, n. sp.

介甲 稍長四角形、上縁は殆ど眞直に走り眼に近く稍角をなして前縁に連る、前縁は丸く屈曲し其の下半は殊

に甚し此處に第二合せ目よく發達し外縁より六、五の突起を出す、後縁は稍膨れ下半の曲屈は稍なり高さの三分の二に後方突起あり前と等しき第二合せ目全體によく發達す、下縁は略真直なれども後方に稍膨る、高さの長さとの比一對一・七、孔道は第二合せ目によく發達し其の先端に毛あり、下縁にては介甲下方に膨れ出す、表面の痘痕及び孔道は略前種に同じ、内面に色素なし、上より見れば中央より後方最も膨れ此處に一本の尖れる突起あり、長さとの比二對三、前方に尖り後方に丸く、雌にありては後端の中央稍突き出づ。第一觸角 六節、末節の細長き毛は左方には四本、右方には二本あり。大顯 總線の基部には葉狀の附屬物あり、觸鬚は先端に向ひて細くなる。第一―第三脚 凡て五節、細長し。雄性生殖突起 略五角形をなし頂點尖る是れ交接突起なり。長さ〇・七耗。

屬 *Cythere* O. F. MÜLLER.

介甲 堅く一般に痘痕あり、翼狀突起なし、閉鎖筋痕は四個にして一列に並ぶ、内縁は外縁に接して走り平行にして少し離れたり、表面の孔道は頗る明白なり、第二合せ目は處々外縁を越して存在す、上より見れば甚しく扁平にせられ常に高さより巾狭し、背面の蝶番は前方及び後方には大なる齒あれども其の中間は滑なるか又は僅かに齒あり、左右兩介は同大なり。第一觸角 短且大、五節なり、第二節に毛生ゆ、第三節は頗る短く殆ど長さに

等し、末節は細長くして巾の二倍以上に達す、剛毛は其の一部爪狀をなす。第二觸角 紡績剛毛は雄雌共によく發達せり、内枝は三節。大顯 大なる基節に短かき丈夫なる齒あり、觸鬚は四節、第三節は中央巾廣く背面に鈍角をなして尖る、其の尖端の直ぐ先きより數本の剛毛生えたり、末節は短くして太く、其基部の巾より長からず總線は數本あり。小顯 咀嚼突起及び觸鬚はよく發達す、鰓板には口方に向ける線又は邪線なるものなし。第一―第三脚 第一節に後方に向ける剛毛一、二本あり、前方の剛毛は第二、第三脚にありては頗る小なる剛毛となれり。尾又 二本の短き剛毛よりなり一般に羽毛狀をなす。側眼常にありて色々の色素より成る。

26. *Cytherea rectangulata*, n. sp.

介甲 略長方形、三分の一の處最も高く長さの半分位なり、上縁は少し凸凹あれども略真直に走り後端に近く少し凹みて殆ど直角に後縁に連る、後縁は真直に下り下半は丸く前方に曲る、前縁は略丸く曲れども上半は稍扁平なり眼に近く鈍角をなして上縁と連る、下半には八個位の孔道の突出第二合せ目に發見せらる、下縁は稍斜めに走りて後縁に連る、後半は表面下部の突出によりて隠る、此の突起は前方に於て内縁に接して起り下縁の後半を覆ひ後端に近く上方に向ひ此處に二、三の突起を作り上縁の少し凹める處に達して消滅す、表面にある痘痕及び孔道は大にして數少し、上より見れば長五角形、五分

の四の處最も巾廣く長さの二分の一より稍強し、此處より前方に向ひ僅かに凹凸しつゝ狭くなり先端は鈍角をなす、後方にありては少し凹みて又僅に突き出で次に直角に屈曲して互に合す其の中央に小なる突起あり。」第一觸角 第二節に一本の剛毛、第三節に一本の爪、第四節には中央に一本の爪と三本の細長き剛毛、先端に一本の爪と四本の細長き剛毛、末節には一本の爪と二本の細長き剛毛とあり、第四節は短くして殆ど其の巾に等し。」第二觸角 紡績剛毛は二節、内枝第一節には毛と二本の剛毛、第二節には三本の剛毛と一本の爪とあり。」大顯 觸鬚第一節には二本の總線あり、一方は頗る短し。」小顯 第一咀嚙突起の基部に一本の爪あり、觸鬚は二節。」第一—第三脚 第一節の中央内外側に各一本の剛毛あり。」雄性生殖器 大なる基部に大なる交接突起ありて先端の一側稍凹む、其の基部に一本の釣狀の副枝あり。」長さ・四耗にして色は黃鶯色。

27. *Cytheree Hishinonagai*, n. sp.

介甲 高くして短く稍平行四邊形をなす、中央最も高く長さとの比一對一・七、上縁は凸凹あれども略真直に走り後方に向ひ稍傾く、後縁には高さの三分の一の處に突出ありて鋸狀をなす、之れより上下に傾き下縁に接して一の突起あり、前縁は丸く屈曲すれども其の上半は斜めに傾く下半には略五本の孔道の突起ありて第二合せ目を

貫く、下縁は中央少しく下方に膨れ、後縁に近く二つの突起ありて後縁を隠す、更に進みて一本の大なる突起を見る、表面の痘痕は不明なれども一本の大なる隆起と二つの中位のご數個の小なる峯あり、其の大なるは前方内縁に接し高さの中央より起り上方に向ひ前縁に平行に、眼を越えて更に上縁を越え次に上縁に平行に後方に向ひ後方突起に近く消滅す、中位の二個は介甲の高さ三分の一及三分の二にあり介甲の長さの半分にも達せずして中央より稍前方にあり、其の他の小なるものは介甲の後方下半に三、四、前方下半に一、二あり、孔道は頗る明かにして多く、多くの毛生ゆ。」第一觸角 五節、第四節は長く基部の巾の二倍以上に達す其他は前種に等しけれども爪稍小。」小顯 觸鬚は無節。」第一—第三脚 各第一節の前側には二本、後側には一本の剛毛あり此の第一脚のは羽毛狀。」雄性生殖器 大なる基部に長三角形の交接突起あり其の先端稍曲る其の基部に大なる釣あり。」長さ〇六耗にして介甲は淡黃色。

屬 *Cythereis* G. O. Sars.

介甲 堅くしてよく石灰化せり、形狀種々にて常に痘痕あり、閉鎖筋痕は四個にして一列なれども稀に尙一個此の近くにある事あり、内縁は外縁に少し離れて存在す、縁邊の孔道は多く殊に前後縁に著し、側眼は介甲前方上位にあり、左介は右介より常に大、蝶番は右に二本、左

に一本の強き齒兩端にあり其の間には小なる齒一列に存在す。第一觸角 五—六節、短く、剛毛の一部は爪狀をなす。第二觸角 紡績剛毛は二—三節にして雌にありては非常に短く内枝の二分の一にも達せざる事あり、内枝は三節、第二節には常に杓子狀の知覺剛毛あり、末端には三本の爪ありて同大ならず。大顯 大なる基節に強き咀嚼齒あり、觸鬚は四節、第一—第三は時々合して一關節となる、此れ等の腹面より三本の長き曲れる剛刺生へ大小二様の毛生へ終り三節の長さに略等し、第三節には腹側に小なる毛一列に生ゆ、背側の剛毛群は末節の基部を被ひて突出せる前節の先端にあり、第二節は細長く、基部の巾の二倍以上あり、末節も細長し、鰓線は一本又は數本にして一般に羽毛狀をなす。小顯 短く強き咀嚼突起あり、鰓板には口の方に向へる線も邪線もなし、鰓板の各線は頗る巾廣し。第一—第三脚 細長し、第一脚は雄にありては屢左右異なる事あり、又同一種に於て左右等じき時と異なる時とあり之れ或は生殖時期に關係あるものならんか、第一、第二脚第一節の中央前側に二本、第三節には一本、第一節の後側には各一本の剛毛あり、第一脚又は第一、第二脚の後側には毛生ゆ。尾叉 一般に二本の長き羽毛狀をなす剛毛よりなる。

28. *Cythereis yamigera* G. BRADY.

Cythere hamigera G. BRADY, 1868, Ann. Nat. Hist., ser. 4, 2, p. 181, t. 12, figs. 5—7.

介甲 全表面剛毛にて満たさる、形狀稍四角形、前方眼に近く最も高く長の略二分の一、前縁は廣く丸く曲り下半の屈曲大、上縁は殆ど眞直にして後方に稍傾く、下縁も殆ど直縁をなせども其の中央稍凹む、後縁にては其の中央凸き出で一の突起をなす此處に長さ三—四本の刺あり、表面に一面に刺狀の隆起又は瘤あり、殊に前縁にあるものはよく列をなす、上より見れば卵形、中央最も幅廣く後方に向ひ稍尖る、前方にも漸次狭くなり、體長の六分の一より急に狭くなり、殆ど兩側平行に走る此處にては幅は約二分の一位となる。第一觸角 六節、第一、第二節に毛生ゆ、第二節に一本の剛毛、第三節に一本の爪、第四節に二本の剛毛と一本の爪、第五節に三本の剛毛と一本の爪、末節に二本の剛毛と一本の知覺、剛毛と一本の爪とあり。第二觸角 紡績突起三節、内枝三節、内枝第一節に一本、第二節に六本の剛毛あり。大顯 觸鬚第一節に五本の鰓線ありて羽毛狀をなす。第一—第三脚 末端爪は頗る長、第一脚第一節の二本の膝剛毛の内雄にありては一本爪狀をなす、雌にありては同大なり、第二脚の第二節、第三脚の第二、第三脚には毛生ゆ。雄性生殖器 非常に長く太く先端丸し基節は比較的小さく略半分位なり。長さ〇・五耗、介色淡桃色。

29. *Cythereis doerreni* (G. S. BRADY.)

Cythere doerreni BRADY, Les Fondes de la mer, tom. I, p. 71, pl. viii, figs. 17, 18.

C. darwini Brady, 1880, Challenger Report, Zool. Vol. 1, p. 97, pl. XXV, fig. 2, a-c.

介甲 膨る、細き剛毛密生す、形稍長四角形、上下縁は殆ど平行し高さよ長さとの比一對二、前縁は丸く屈曲し、短く大なる齒の二列あり、後縁は不規則に丸く中央に數本の刺狀突起あり、内一本は餘程長し、上縁と接して角をなす、後端下方の内方に近く一本の刺狀突起あり、上より見れば卵形に近く、兩側は凸凹す、中央より稍後方最も幅廣く長さとの比一對一七、前方に狭くなりて尖り、後方に丸く此處に一本の長き刺あり、又最も膨れたる處の兩側にも一本宛の短き刺あり、表面の剛刻は前種より餘程簡單にして凹凸せる多くの痘痕あり。」小頭 觸鬚は二節、咀嚼突起の基部に一本の長き剛毛あり。」第一—第三脚末端の爪は前者より更に長く、第二—第三脚に毛なし、第一—第二脚第一節の後方剛毛は羽毛狀なり。」雄性生殖器 交接突起は短くして太く、先端尖り殆ど基節の長さに等し、輸精管を明かに見る事を得、基節と突起との間に渦巻きせるキチン質の釣あり。」長さ〇八耗、其の他は前種に同じ。

30. *Cythereis hodgkei* G. S. BRADY

Cythereis hodgkei Brady Trans. Zool. S. c. 1865, Vol. V, p. 373, pl. 1xi fig. 3, a, b.

C. hodgkei Brady, 1880, Challenger Exp. Vol. I, p. 94, pl. XXV fig. 1, a-d.

介甲 長卵形、剛毛少く、前縁に近く最も高く長さとの

比一對一六、雄にありては稍大なり、前縁の下半には七八本の短き突起あり、下縁の後縁に接する處の少し内側に二二三本の刺あり、表面には多くの丸き又は角ばれる痘痕あり、介甲の中央にありては稍長軸に沿ひて並ぶ、瘤狀の突起なく爲めに孔道よく表はる、上より見れば殆ど卵形、中央最も幅廣く稍後方に膨む、其の他は前種に頗る類似せり。」第一—第三脚 三本の末端爪は頗る短く雄の第一脚の左は屢畸形をなす。」雄性生殖器突起 短く細き交接突起あり先端尖る、基節は大。」長さ〇七耗、介色淡桃色にして薄鳶色の斑痕散布す。

31. *Cythereis conreuxi* (BAIRD)

**Cythereis conreuxi* Baird, 1850, The N. H. of the British Entom. London, p. 174.

C. conreuxi, Brady 1868, Trans. Linn. Soc. London, Vol. 26, p. 353.
Cythereis conreuxi, G. W. M. Inter, 1874, Fauna n. Flora des Golfes von Neapel, Vol. XXI, p. 336.

介甲 短且高、長さとの比二對三、中央最も高く略三角形、左介は上縁甚しく屈曲し、前方に稍緩、下縁は殆ど直線をなす、前、後縁は甚だ廣く丸く殊に前縁の下半は其の屈曲甚しく多くの毛生の、後縁の下半には齒狀突起多くあり、右介は三分の一の處最も高く後方齒狀突起の上方に深き刻み込みあり、表面には多くの痘痕あれど其の凹み極僅かにして薄し、孔道もよく發達す、表面の剛毛は小にして少く、縁邊殊に前後縁にありては剛毛密生す、雌の介甲は稍長し、三分の一の處最も高し、一の極低き突起下縁中央

に近く接して起れども前後に向ひ稍上方に曲りて消滅す上より見れば中央最も巾廣く長さの二分の一にして兩端に尖る。第一觸角 五節(第四―第五の癒合)四本の爪は頗るよく發達す。大顯 觸鬚三節、鰓線二本。第一―第三脚 三本の末端爪は甚だ短く、太からず、下半に毛あり。雄性生殖器 交接突起は巾廣く長く、末端に刺狀の突起あり、基節は割合に小。長さ○・八耗、介色黄なれども一定せず。

32. *Cythereis subconcorda*, n. sp.

介甲 前種に頗る似たり、稍長く中央より前方最も高く長さとの比三對五、上縁は緩かに曲り稍後方に屈し、前後縁は共に丸く、後縁稍小なり、下縁は殆ど直線をなす表面の隆起線は上縁 前縁及び下縁に接して極低く走りて三本あり、上より見れば中央最も廣く長さとの比四對九前後に同様に尖る、前縁には三個、後半には二つの小突起あり、後端には凹凸多し。小顯 觸鬚は無節。第三脚は三節。雌性生殖器 交接突起は長く、廣き尖れる突起と之れより稍小なる突起とありて比較的小なる基節の上に相接して立ち小なる突起の中央には一本の孔道あり。長さ○・六耗、介色黄にして其の他は前種に等し。

33. *Cythereis assimilis*, n. sp.

介甲 三分の一の處最も高く長さとの比二對三、上縁は後方に向ひて傾斜し後縁と接する處に大なる凹所を作る、故に後縁に於ては其の上半は深く内部に侵入す、下半

は丸く六本餘の突起あり最下のもの最も大にして下縁と接して存在せり、前縁は頗る丸く其の下半は一層屈曲大、十三本位の小齒あり、下縁は眞直なれども其の中央稍凹む、表面には色々の大きさの痘痕あり殊に中央に明白なり、縁邊に向ひ數個合して不分明となる、剛毛は前後縁に殊に著しく表面には少し、下縁に接して平行に至る隆起あり、後端に近く最大となれども前後に消滅す又上縁後端凹所の少し前方に一大瘤あり、上より見れば巾は高さと同略同じ、兩端に尖れども前縁の一寸手前に一寸膨む、兩側は烈しく屈曲し三分の二の處最も巾廣し、四分の三の處に一大瘤起あり、前方に向ひて消滅し後方に向ひ一度屈曲して直に前方に向ひ消滅す。大顯 觸鬚の背面剛毛群中には一本の爪あり、第一節の鰓線は一本の長き羽毛狀の剛毛と二本の短かきものとより成る。第一―第三脚 第一、第二脚の第一節には薄毛あり、末端爪は餘り大ならず。長さ○・七耗、介色黄なり。

圖 解

- 一 *Lonocypis jufewa* (110倍)
- 二 同第一觸角 (110倍)
- 三 同第二觸角 (110倍)
- 四 同大顯 (110倍)
- 五 同顯脚 (110倍)
- 六 同第二脚 (110倍)
- 七 同貯精囊 (110倍)

- 八 同尾叉 (一一〇倍)
- 九 同精虫 (二六〇倍)
- 十 *Bairdia oligactenta* (四〇倍)
- 十一 同第一觸角 (一一〇倍)
- 十二 同第二觸角 (七三三倍)
- 十三 同大顎 (一一〇倍)
- 十四 同小顎 (一一〇倍)
- 十五 同第一脚 (一一〇倍)
- 十六 同第二脚 (一一〇倍)
- 十七 同尾叉 (一一〇倍)
- 十八 同介甲の後部内側の一部 (一一〇倍)
- 十九 *Cytheropteron viduus* (一一〇倍)
- 二十 同第一觸角 (二六〇倍)
- 二十一 同第二觸角 (二〇〇倍)
- 二十二 同大顎 (二六〇倍)
- 二十三 同小顎 (二六〇倍)
- 二十四 同雄性生殖器 (二六〇個)
- 二十五 同介甲の一部廓大 (二〇〇倍)
- 二十六 *Xestoleberis saquinensis* (一一〇倍)
- 二十七 同第一、第二觸角 (二六〇倍)
- 二十八 同第一、第三脚 (二〇〇倍)
- 二十九 同雄性生殖器 (二〇〇倍)
- 三十 *Paradorostoma conforme* (七十三倍)
- 三十一 同刷狀器 (一一〇倍)

(論 說) ○三崎産介形類に就きて (梶山)

- 三十二 同閉鎖筋 (一一〇倍)
- 三十三 同雄性生殖器 (一一〇倍)
- 三十四 *Paradorostoma oblongum* (七十三倍)
- 三十五 同雄性生殖器 (二〇〇倍)
- 三十六 *Paradorostoma ovulare* (二〇〇倍)
- 三十七 *Paradorostoma pilosum* (七十三倍)
- 三十八 同雄性生殖器 (二六〇倍)
- 三十九 *Paradorostoma quadratum* (二〇〇倍)
- 四十 *P. ovulare* 雄性生殖器 (二〇〇倍)
- 四十一 *Paradorostoma triangulum* (二〇〇倍)
- 四十二 同雄性生殖器 (二〇〇倍)
- 四十三 *Paradorostoma Yatsui* (七三三倍)
- 四十四 同第一觸角 (二〇〇倍)
- 四十五 同第二觸角 (二〇〇倍)
- 四十六 同大顎 (二〇〇倍)
- 四十七 同小顎 (二〇〇倍)
- 四十八 同第一、第三脚 (一一〇倍)
- 四十九 同雄性生殖器 (二〇〇倍)
- 五十 *Laccocentrus impressus* (六〇倍)
- 五十一 同雄性生殖器 (一一〇倍)
- 五十二 *Laccocentrus bispinosus* (七十三倍)
- 五十三 同下面より (四〇倍)
- 五十四 第一觸角 (一一〇倍)
- 五十五 同雄性生殖器 (一一〇倍)

(論 說) ○三崎産介形類に就きて (梶山)

- 五十六 *Cytherea rectangularis* (六〇倍)
 - 五十七 同第一觸角 (二〇〇倍)
 - 五十八 同大顯 (二〇〇倍)
 - 五十九 同小顯 (二〇〇倍)
 - 六十 同雄性生殖器 (一一〇倍)
 - 六十一 *Cytherea Kishinouyei* (七三倍)
 - 六十二 同第一—第三觸 (二〇〇倍)
 - 六十三 同雄性生殖器 (一一〇倍)
 - 六十四 *Cytherea hunkoana* (四〇倍)
 - 六十五 同第一—第三觸 (一一〇倍)
 - 六十六 同雄性生殖器 (一一〇倍)
 - 六十七 *C. darvini* (七三倍)
 - 六十八 同第一—第三觸 (一一〇倍)
 - 六十九 同雄性生殖器 (七三倍)
 - 七十 *C. hodgqi* (七三倍)
 - 七十一 同雄性生殖器 (七三倍)
 - 七十二 *C. conrasi* (七三倍)
 - 七十三 同雄性生殖器 (一一〇倍)
 - 七十四 *C. subconrasi* (七三倍)
 - 七十五 同雄性生殖器 (一一〇倍)
 - 七十六 *C. assimilis* (七三倍)
- St 基節 Re 外枝 B 鰓線 F 尾叉